

06年度の
産業廃棄物排出量

前年度比0.8%減

最終処分量は1割減

環境省のまとめによると、2006年度の全国の産業廃棄物の総排出量は約4億1850万ト(05年度約4億2168万ト)で、前年度に比べて約300万ト(約0.8%)減少した。産業廃棄物の処

理状況では、再生利用量約2億1477万ト

(51.3%)、減量化量約

1億8193万ト(42

・5%)、最終処分量約

2180万ト(5・2

%)となっており、05

年度に比べて最終処分

量が約1割減少した。

業種別排出量では、

電気・ガス・熱供給・

水道業約9708万ト

(23・2%)、農業約8

792万ト(21%)、建

設業約7753万ト

(18・5%)、鉄鋼業約

3837万ト(9・2

%)、パルプ・紙・紙加工

品製造業約3387万

ト(8・1%)、化学工

業約1721万ト(4

・1%)などとなって

おり、05年度と同様、

上位6業種で総排出量

の約8割を占めた。

産業廃棄物の種類別

排出量をみると、汚泥約

1億8533万ト(44

・3%)、動物のふん尿約

8757万ト(20・9

%)、がれき類約608

2万ト(14・5%)など

なっており、前年度と同

様、上位3品目で総排出

量の約8割を占めた。